

ちゅうぞう

鑄造に関する遺物

ふいごの羽口（先端に銅が付着）



(東北院出土)



同時代の工房の推定図

(出典：『飛鳥・藤原京展』)

奈良文化財研究所 2002年 早川和子作画)

炉壁、ふいごの羽口（炉に風を送る道具の送風口）、鑄型などが出土したことから、東北院には、堂塔を飾った金具などの鑄造や補修を行った工房があったと考えられます。

粘土板に型取られた仏（塼仏）



(下絵は『夏見廃寺報告書』より)

この冊子は、常翔啓光学園中学校・高等学校における発掘調査をきっかけに、同校に設置された説明パネルの内容を再構成して作成しています。

令和3(2021)年4月 枚方市発行

この塼仏には複数の仏が描かれています。堂塔の壁面などに飾られていたものです。